

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスMogen(児童発達支援)			公表日	令和7年2月28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	利用児童2名のため適切なスペースを確保できている。運動療育の場合は集団の部屋を使うなど療育内容によって適切な部屋を利用している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	利用児童数に対して適切な人員配置を行っている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	ホワイトボードを活用するなど視覚的な支援を行っている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日衛生チェックを行ない、快適な環境を整備している	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	必要に応じて対応できる環境を整えている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	83%	17%	職員朝礼等で療育内容を振り返り、職員間で共有している。問題点を見直し業務改善につなげている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	保護者評価を全員に周知し業務改善につないでいる	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	毎日の朝礼で振り返り、意見を出し合いながら業務改善につなげている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	17%	83%	今後検討していく	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	法定研修以外の研修にも参加している	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	支援プログラムを作成し、HPで公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	定期的に面談し、子どもの課題や保護者のニーズを確認したうえで計画に反映している	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	職員全員でモニタリングを実施し計画を作成している	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	職員全員でモニタリングを実施し計画を作成している。毎日の朝礼で支援内容について責任者のフィードバックを得る機会を設けている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	職員全員でモニタリングを実施し計画を作成している。定期的なOT評価を行い支援に繋いでいる。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	職員全員でモニタリングを行い、個人に適切な目標設定をおこなっている
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	83%	17%	担当者が立案し職員間で共有している。職員全員で結果を共有し次回の立案につないでいる。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	日々のプログラムを共有し、固定化しないよう職員で意見を出し合い工夫している
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	対象児童の状況に応じて個別療育とグループ療育を組み合わせ実施している
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	朝礼で当日の支援について打合せを行い、グループ内で共有している
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	朝礼にて前日の振り返りをおこない、支援内容の共有をおこなっている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	日々の記録を取ると共にLINEワークスで職員間の情報共有を行い支援内容の改善につなげている
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	職員全員でモニタリングを実施し計画作成を行なっている
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	児発管が参画し、情報共有をおこなっている
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	67%	33%	必要があればおこなっている
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	83%	17%	保育所等訪問と連携し情報を共有している
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	83%	17%	保育所等訪問と連携し情報を共有している
	28	(28～30は、センターのみ回答)			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)	83%	17%		

	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			必要に応じて連携している
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%	現在地域での交流なし。今後検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	保護者同伴での療育を行っており、その場で評価を行わない伝達することで共通理解を持って療育を行っている
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	67%	33%	年に一回保護者会にておこなっている
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時の説明を始め、変更が生じた場合には随時説明をおこなっている
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	定期的にも面談を行い意向を確認し、計画書へ反映している
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	計画書の内容について説明を行い同意を得ている
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	定期的に面談を行い必要な支援をおこなっている
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	67%	33%	年に1回保護者会を行っている。座談会を通じて父母の交流出来る場を設けている
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	児発管を中心に相談の対応体制を整えている。相談等はLINE等でも受け付け、随時対応している
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	83%	17%	毎月の外出活動予定や公式LINEにて情報を発信している
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	職員間の研修を行い個人情報の取り扱いに留意している。お便りやSNSでの写真の取り扱い等チェック機能を持ち対応している。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	保護者の性質を理解し必要な対応を持って情報の伝達をおこなっている
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%	今後検討していく
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	83%	17%	マニュアルを整備しており、定期的に事業所内で研修・訓練をおこなっている
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	災害発生に備え定期的に訓練、研修をおこなっている。年間行事に取り入れ行なっている。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	入所の際確認をさせていただいており、状況が変わった際に情報共有をしている

非常時等の対応	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	33%	67%	現在アレルギー対応児童なし
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	年間の行事計画内で安全計画に基づく研修をおこなっている。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	83%	17%	年間の行事計画内で安全計画に基づく研修をおこなっている。周知が不十分なため今後SNSを通じて情報公開を行なっていく
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	LINEワークスにて職員間の情報共有を行ない業務改善につなげている。年間行事で研修をおこなっている。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	定期的に県の研修へ参加し、事業所内での職員研修に繋げている
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	67%	33%	現在身体拘束の対象児童なし